

## モニター意見

### 「広島ハザードマップ調査」から減災へ

向谷 光彦

「自然災害って本当に防ぎきることが出来るの？」これは、私が平成 16 年の瀬戸内海地方での連続的災害に対して、①現地調査での被災者、②マスコミ関係者、③異分野の研究者から、異口同音にして寄せられたご意見である。ハード対策≒箱モノ一辺倒で、アジアの大国になったけれども、“防災”幻想から解き放たねなければならないと痛感している。筆者のような真摯な『減災』への取り組みが標準化、マニュアル化され、地域住民の方々へお役に立てるように、学会としても役割を果たしてはどうだろうか。

### 大規模森林火災が及ぼす環境への影響をよんで

中鉢 令兒

大変興味深く読ませて頂きました。まずその写真が、とても興味をそそりました。タイガと永久凍土などは、観光学を教えている小生には、将来的には大切な観光資源となる気がしました。特にアバラッハ湖は、カラー写真で見たら相当すごい風景かと思います。観光と言われると、自然破壊をイメージしますが、USA では、国立公園の入場料を \$50~\$100 必要とするのは当たり前で、この基金が重要な保護の費用になっています。また、国立公園内では、利益は全て環境保全に還元するのが決められています。釧路湿原、霧多布湿原など保護が進められてきましたが、観光地化によって多くの人の理解を得られたと思います。リゾート(余暇)の語源は、スコーレです。かつては、ポローニャ(中世の大学都市)はヨーロッパの余暇の都市でした。観光の本来の姿は、文字で

学ぶことが大儀な人が体感することによって理解するといった方法論のことです。適切な観光化によって、こうした自然は守られていくように感じました。最近イギリスに行きました。トラスト運動によって守られている自然に感動しました。これからは、研究者、行政、市民によって守ることが重要だと思いますし、成熟社会の到達点と思います。こうした貴重な自然の姿を無理のない保護方法で守られる仕組みづくりに取り組んでいただきたいと思いました。

### 特集記事「大規模森林火災が及ぼす環境への影響」を読んで

長谷川 雅俊

今回の特集記事は読みやすかった。というのは、森林という生物がからんだ内容だったので。私自身、生物系の研究者なのでとつきやすかったということです。ということは今までは読むのにかかるストレスがあり、思い切りが必要だった?! 読したところ、こんなことがあるんだという点で勉強になった。自然に森林火災が起こるなどということはこれまで知らなかった。内容は、大規模森林火災の原因からその地球環境への影響、対策までわたっている。“タイガの森林火災が温暖化によって起こり、さらに森林火災によって温暖化が進行するという正のフィードバック”に恐ろしさを感じた。

自然災害とはいいながら、“タイガでは発生に人為の影響が読み取れる”(福田氏)やインドネシアの泥炭地火災では農地開発が原因(高橋英紀氏)と人間が原因という指摘もされている。雷対策(制御)は無理でも、人為が原因ならそれこそ具体的な直接的な対策が可能はずです。